

石川島記念病院

副島 由梨(管理栄養士)

功 績 当院は2名体制で栄養科を担っています。退職者補充として4月に1名入職ありましたが、入職間もないこともあり、体調が思わしくなく休みがちでした。副島は、新入職者が完全に復帰するまでの期間、コロナフロアと回復期リハビリテーションフロアの栄養指導・給食等の業務を一手に引き受け実践しました。さらに、コロナ患者受け入れのために、病院として土曜日勤務を実施していますが、栄養科として他部署に大きな影響を与えることなく業務を遂行した功績。

推 薦 者 丸山 恭子

推 薦 理 由 新入職者の慣れない環境から業務に馴染むまで辛抱強く見守り、栄養科の業務も滞りなく遂行できたのは、副島栄養管理士の人間性にあると思います。新入職者に対して焦らず、暖かく回復するまで新入職者に寄り添う対応と心理的な安全を与えられたためではないかと思います。働きやすい職場環境と離職防止に、貢献があったと思うので推薦をします。

内 容

当院は、小規模病院であるため一人部署や二人部署にならざるえないという特徴があります。また、他部署が一人部署をカバーできるよう、業務内容をある程度把握し、協力体制をしなければ、成り立たないところがあります。栄養科も二人部署で、栄養指導、献立表作成、厨房の管理などの業務を遂行していかなければなりません。さらに、現在、コロナフロアと回復期リハビリテーションフロアというまったく対応が異なるフロアを抱え、業務が煩雑化しています。そんな中、新入職者は、新しい環境に慣れないためか、体調不良により休みがちな状況となりました。副島は、新入職者への心の負担をかけることなく、新入職者の分の業務を遂行し、患者さんや職員に大きな影響を与えることなく、対応できていました。そのような中、栄養科は、患者満足度において4.14ptという、これまでにない良い評価を得ることができています。人材は人財と言われるように組織にとって大きな財産です。働く意欲があり、真面目に業務遂行をしている新入職者を失うことなく現在は休みも少なくなっています。栄養科において、働きやすい職場環境づくりを実践していたからこそ、離職にならず通常業務に戻ってきているのではないかと思います。